

東日本大震災
あの日を未来につなぐ、宮城のいま。

2019.8.11

Vol.
40
August, 2019

ナウイズ
毎月11日発行

NOW IS.

黒羽麻璃央
in 仙台・名取

撮影地：名取市関上・名取川堤防



まるで、映画のような風景！
みんなもここで感じてみて。

NOW IS. 対談

談

Talk Session

in 名取 NATORI

景色も一緒に味わって！ 復興の真髄を体感できる 「かわまちてらす閑上」。

津波で大きな被害を受けた名取市閑上地区に、2019年4月「かわまちてらす閑上」がオープン。名取川河口の堤防沿いに23店舗が出店し、にぎわいを見せています。そんな新スポットに、俳優の黒羽麻璃央さんが訪れ、株式会社かわまちてらす閑上の佐藤智明さんと対談しました。

活気づく
川沿いの商業施設。
写真映えスポットも多彩。

黒羽麻璃央さん（以下黒羽）

まっすぐな川沿いの道に、カフェやお店が並んでいる空間、とっても気持ちがいいですね。開放的で、ジブリの映画のような世界観。年甲斐もなく、水遊びしたくなります。

佐藤智明さん（以下佐藤）「かわまちてらす閑上」では、カフェやレストラン、小売店などで、宮城のおいしいものをたくさん扱っています。景色まで一緒に味わってほしいと思うんですね。「漁亭浜や」のカウンター席も、川を眺めながら食事できるように、窓に向けて設置しまし

Kuroba Mario

黒羽麻璃央

くろば
まりお

PROFILE

1993年生まれ仙台市出身。第23回 ジュノン・スーパーボーイ・コンテスト準グランプリ受賞後、ミュージカル『テニスの王子様』、ミュージカル『刀剣乱舞』シリーズなどに出演し、俳優として活躍。2019年にみやぎ絆大使に就任。

た。黒羽「映え」そうなスポットが多いですね。佐藤「川はもちろん、土手に立てば海が見える。蔵王の山並みに沈む夕日もきれいですし、夜は閑上大橋の夜景が幻想的です。」

さみしい気持ちだったのですが、今日来てみたら、とても活気があって驚きました。佐藤「そうですね。閑上には2013年に現地再建した「ゆりあげ港朝市」があります。仙台周辺の人は「日曜日は閑上の朝市に行く」という習慣がありますので、「こっちにも新しいお店ができたんだ」と、お客さんがこちらにも足を運んでくれたのではないかと思います。閑上はこれからますます盛り上がりそうです。みちのく潮風トレイルの「名取トレイルセンター」

も完成しましたし、これから温泉施設もできる予定です。多くの人に来てもらえるように「素晴らしいまちだよ」と発信していきたいと思っています。交流人口を増やし、将来的には、住んでみたいと思える人が増えたらと考えています。黒羽「都内じゃできないような遊び方が、たくさんできそうですね。」

し、潮干狩りや花火大会もできそう。この前、「水辺de乾杯」というイベントを実施したので、気が持ちよかったですよ。黒羽「ぼくは、閑上の景色が、昔からとても好きなんです。だから、今活性化してるから、という理由だけじゃなくて、みんなにもぜひ足を運んでもらいたいと思っています。ぼくたちは、災害で大変な状況だったまちが復興していく過程を見られる、貴重な世代だから。」

佐藤「震災のとき、私は車で津波から逃げました。どうにか閑上大橋に登って、振り返ったら、後ろにいたはずの車は全部流されていた。生かされた命だと思っています。使命感を持って、まちづくりをしないとけない。いつか「こんなに素晴らしいまちになったよ」と、亡くなった方に報告したいと思っています。黒羽「初めて来る人には、震災直後の写真と今の閑上を見比べてほしい。ここに来れば、まちは、人の力でここまで変われるんだと、実感できるんじゃないかな。人生の価値観が変わると思います。」

Sato Tomoaki

佐藤智明

さとう
ともあき

PROFILE

1951年生まれ名取市閑上出身。株式会社かわまちてらす閑上専務取締役。かわまちてらす閑上の立ち上げから関わる。有限会社まるしげ代表取締役。閑上で仲間を営むとともに、1993年から「漁亭浜や」を営む。



閑上を「素晴らしいまち」にする
使命があると思っています。



活躍する応援職員

SUPPORT POWER



教訓を活かし、 伝承していく

2018年9月6日に発生した北海道胆振東部地震。仙台市では、9月10日に苫小牧保健所へ職員を派遣しました。その時、苫小牧保健所内の安平町の避難所に保健師として派遣されたのが、佐藤さんと只埜さんです。安平町では8カ所の避難所を開設し、約650人が避難。町内で一番大きく、100人以上の避難者がいる追分公民館を2人は受け持つことに。「居住スペースが不足だったため、そのままだと感染症が流行する恐れがありました。次亜塩素酸で床を消毒後、土足厳禁に。ちょうど段ボールベッドが届いたので設置し、環境整備を実施しました」と只埜さん。「環境整備後、本来の健康調査などの活動に従事し、状況把握に努めました」と佐藤さんも当時を振り返ります。

追分公民館では、避難者の半数程度が高齢者。要介護度の高い避難者もいました。DCAT（介護職員からなる災害派遣福祉チーム）の協力のもと健康体操を実施し、生活不活発病の予防に努め、入浴介助なども実施しました。

「避難者の支援はもちろんですが、安平町の職員の負担にならないよう



安平町の避難所内での健康状況の確認の様子。

仙台市
太白区保健福祉センター
家庭健康課 課長
佐藤 和代さん(写真左)

障害高齢者 地域支援係
主幹兼地域支援係長
只埜 弓美さん(写真右)

仙台市より
北海道安平町に派遣

「東日本大震災を経験していません。指示を求めたのではなく、自分たちで判断し、行動することも重要なんです。東日本大震災直後、神戸からきた応援職員に「休むことも仕事。自分たちに任せてほしい」と言われ、佐藤さんは「心強かった」と話します。

「東日本大震災を経験していない保健師が多くなりました。経験した者の務めとして、きちんと災害時の対応の業務を伝承していきたい」と只埜さん。佐藤さんは「県外で災害が起きた際、いつでも行けます」と誰もが力強く言える保健師を育成していきたいですね」と話してくれました。

AREA information



ゆりあげ周遊船 運航中

日本一長い運河である貞山運河を生かした新たな魅力創出として、「ゆりあげ周遊船」が運航中です。復興が進む閉上地区を周遊し、タブレットを使って貞山運河や広浦の昔の様子をご案内します。

- 実施期間：2019年7月6日(土)～9月29日(日)の土日(26日営業運航)
- 運行ダイヤ：1便9:00～、2便10:00～、3便11:00～、4便12:00～、5便13:00～
- ※所要時間は30分(定員20名)
- 料金：大人500円・小人200円
- ※貸切運航は10,000円(定員20名で別途大人500円・小人200円)
- ※貸切運航の予約がある日、荒天の日は運休の場合有。
- ☎022-363-9535(9:00～17:00、火曜定休)(有)マリンメカニク



復興や防災にまつわるニュースをお伝えします

東北人として、 発信したい。 復興のまちの、 このパワー！



「しらす丼、赤貝丼、夏はアナゴ丼でしょう」と名物をあげる佐藤明さん(右)に「うわ最高！」と頬をほころばす黒羽さん。

インドア派黒羽さんのアウトドアな一日。

「あー！地元って感じるなあー」。黒羽麻璃央さんは名取川の土手に立ち、大きく伸びをしました。「ぼくにとって宮城は『帰る』って言葉を使える貴重な場

所。空気が肌になじむんです」。佐藤明さんと対談した「かわまちでらす閉上」では、エネルギーギッシュな人たちにも出会いました。「これ！食べていいがいん！(食べていきなさい)と威勢のいい方言で呼び止めるお母さんたちに、「関西のおばちゃんみた

い！東北の人ってこんなにパワフルでしたっけ」と満面の笑みの黒羽さん。「何度も来たくありません。今度は食べ歩きしたいな」。

次に訪れたのは、同じく名取市閉上地区にある「みちのく潮風トレイル名取トレイルセンター



地元蒲鉾店名物の「かまぼこせんべい」。顔より大きい、このインパクト！

「「みちのく潮風トレイル」は、環境省が整備した青森・岩手・宮城・福島太平洋側の道を結ぶ日本有数のロングトレイル。「名取トレイルセンター」はその中心拠点となる施設で、2019年4月19日にオープンしたばかり。「日本では馴染みが薄いロングトレイルですが、海外にはたくさんファンがいるんです」と話してくれたのはトレイルセンター事務局の板橋真美さん。「みちのく潮風トレイルは全長1000km。1カ月半～2カ月かけて歩くんです」「1000km！」と驚く黒羽さん。「すごい道のり！人生観が変わるだろうなあ。生きなあの時間のような。そうですね、とうなずく板橋さん。「みなさん、震災のことを心に留めながら歩いてくださっています。東北は人がいいよね」とリヒートしてくれる方もいましたよ。黒羽さんは「それ、東北人としてうれしい！」と笑顔。「僕はインドア派ですが、チャレンジしてみたいと

ここに注目！ NOW IS. EYE'S



「名取トレイルセンター」には、「みちのく潮風トレイル」に関する情報発信のほか、シャワー室なども完備。ダイナミックな景色と変化に富んだ道のりを楽しむに、国内外から多くのハイカーが訪れています。



ハイカーの装備も展示されている「名取トレイルセンター」。

「津波の時どんな思いをしたのかな…。頑張ってた生きよと言われた気がします」。

「夕暮れが近づくころ、最後に訪れたのは、仙台市の「海岸公園馬術場」。ここには津波で流されながらも生き抜いたキャンディという馬がいます。所長の木幡良彦さんは「厩舎から流され、生き残った36頭のうちの1頭です。津波の次の日から、腰までヘッドロにつかりながら搜索しました。松の木の隙間に挟まっていたり、胸まで泥に埋まっていた馬もいました」と話します。黒羽さんは、今年14歳になるキャンディにおそるおそる触れ「迫力があるなあ」とつぶやきます。馬術場は震災から7年経過した2018年7月に再開しました。「引馬や餌やり体験もできます。いろいろな人が馬に触れる機会がくれたら」と木幡さんは話します。「どのスポットからも、パワーを感じました」と黒羽さんは一日を振り返ります。「震災を経験した人間として、このパワーを発信していきたい。とにかく宮城に来たら感じられると思います！3日くらい休みをとって、ぜひ、あちこち歩いてみてください」。



「津波の時どんな思いをしたのかな…。頑張ってた生きよと言われた気がします」。

check! 01

防災に、
圧倒的な正解はない。
教育しにくい分野に
踏み込む。

防災・減災は ゲーム感覚で 学ぶ時代 ////



防災教育というと、学校の避難訓練を思い出す人も多いのではないだろうか。近年、そのイメージが大きく変わろうとしています。そのひとつが、「防災アクションカードゲーム」。東北大学の学生と、災害と教育を研究する久利先生が開発しました。

「防災アクションカードゲーム」は、①災害時の行動についての問題文を読む、②答えの行動を示す絵札を3秒以内にとる、③その行動について

30秒で説明する、というシンプルなゲームです。「とっさの判断を、自分で考えて見いだす練習に活用してほしいと思っています」と久利先生。

「災害は、訓練と同じ場面で起きるとは限りません。いつでも身を守る行動をとれる教育が必要なのですが、これは、とっても教えるのが難しい。どうやったらみんな考えてもらえるだろう、と模索してたどり着いたのがこのゲームでした」。

苦心したのは、問題文の選定だと言います。「状況を正確に表そうとすると、問題文が長くなり、ゲームが複雑になる。防災を考える最初のツールとして、シンプルであることを大切にしました」。まずは自分の身を守る、というシンプルなメッセージを伝えることに重点をおいた結果、日本はもちろん、海外にも広がりを見せています。

「はじめは県内の小学校などを中心にスタートしましたが、徐々に手を離れ、全国に広がり始めました。指

check! 02

「まず身を守る」という
メッセージを
子どもや外国人にも、
伝えるために。



カードを使って、海外の方へ向けての実践も行われています。

導する側に対してのマニュアルもウェブサイトで公開しています。また、カードゲームは絵が基本なので、国境を越えて理解されやすい。英語版の問題文を作成したところ、東北大学の留学生を通して、各国で使っていたいています」と久利先生。防災研修に訪れた海外の方が購入し持ち帰った例も、「身を隠す、走って逃げるなど、カードが表す状況がシンプルなので、住環境や教育環境に関わらずに使える」と話していました。

今後は「地震・津波編」だけでなく、「気象災害編」も広めていく予定とのこと。万人が楽しめるカードゲームが、人々の柔軟な防災・減災行動を養っていきます。

NOW IS. 防災 7.0.1.1

BOSAI FRONT LINE

PROFILE

くりみわ
久利美和 先生



筑波大学大学院地球科学研究科修了。博士(理学)。防災科学技術研究所、筑波大学VBL、地質調査所(現:地質調査総合センター)、東北大学リーディング大学院などを経て、2019年度福岡管区気象台に入職。

Vol.4

INFORMATION from MIYAGI

〔宮城県からのお知らせ〕

●みやぎ移住サポートセンターのご紹介

宮城県は、海・山・平野といった自然が調和した環境に恵まれ、県内各地域に多様な文化が根付いていることに加え、都市機能の便利さも兼ね備えている、とても魅力的なところです。

県では、そんな宮城県へのUターンを希望されている方々向けの相談窓口として、「みやぎ移住サポートセンター」を設置しています。専門の相談員が、住まいや子育て環境などに関するご相談に応じているほか、県内企業とのマッチング支援やキャリアカウンセリングも実施しています。宮城県への移住に興味がありましたら、是非一度お越し下さい!



●みやぎ移住ガイド <https://miyagi-ijuguide.jp/>

「いきなり、相談窓口は…」と感じた場合は、移住専用HP「みやぎ移住ガイド」にて、様々な情報を発信しているほか、各種イベントも開催しておりますので、是非こちらもチェックしてみてください!

●みやぎ移住サポートセンター

●東京都千代田区有楽町2-10-1東京交通会館8階

(NPO法人ふるさと回帰支援センター内)

☎090-1559-4714(相談員直通)

MEDIA INFORMATION



みやぎ復興情報
ポータルサイトは
こちらから!



<https://www.fukkomiyaagi.jp>

宮城の復興情報を発信する、「みやぎ復興情報ポータルサイト」をリニューアルしました! 復興に関するお知らせや復興の進捗状況、復興に向けた取り組みなどを発信します。

最新情報を
ブログで!

ブログピックアップ

黒羽麻璃央の

宮城の おいしいを お取り寄せ



黒羽麻璃央

仙台市出身の俳優、黒羽麻璃央さんが復興支援になれたらと、被災沿岸市町のグルメを実際にお取り寄せしご紹介しています。

黒羽麻璃央さんの新企画がスタートします。第1回目にお取り寄せするのは、山元町で、おいしくてかわいい、ちょっと高級なイタリアントマトを生産・加工・販売している「スルーエイジ農園」の商品です。農園の想いとともにお届けします。

宮城発! 元気と食の 最新情報



一般社団法人
IkiZen

震災復興に軸足を置き、被災地企業の販路開拓や商品開発、広報活動支援などを行っています。

2019年7月26日、気仙沼魚市場のすぐ向かいに「みしおね横丁」がグランドオープンしました。約1,100平方メートルの敷地に、各店主が整備したトレーラーハウスで構成されている横丁。グランドオープンまでの道のりや想いをご紹介します。

「みやぎ復興情報ポータルサイト」内の「NOW IS. 復興レポート」をご覧ください。

●いまを発信! 復興みやぎ



SNS「いまを発信!復興みやぎ」では、取材チームが見た被災地の「いま」を発信しています。皆さまからの投稿もお待ちしております。ハッシュタグ「#fukkomiyaagi」をつけて、撮影した画像をお寄せください。

●NOW IS. メールマガジン

NOW IS. の発行日(土日・祝日のときは翌平日)にメールでお知らせします。

NOW IS. メールマガジン で検索して登録!



取材 こぼれ話 Voice from STAFF

海岸公園馬術場では、3月7日に馬の赤ちゃんが誕生しました。一般公募で名前を募集し、「きなこ」と命名。犠牲となった馬たちの生まれ変わりとして、大事に育てられています。ぜひ、訪れてください。そして実は、馬術場を案内してくださった所長の木幡良彦さんは、バルセロナ五輪とアトランタ五輪に出場。1994年には全日本総合馬術大会選手権優勝の経歴を持つすごい方なんです! こっそりスタッフさんが教えていただきました。



みやぎのタカラ

Treasures of Miyagi

宮城県が得た震災の教訓や復興の道筋は、未来に役立つ宝に育ちつつあります。
この地で生きる人々の想いととも、世界に発信していきます。



FILE
No. 4

かわまちてらす 閑上

株式会社
かわまちてらす 閑上



交流人口を増やしたい。
活性化のための第一歩に。
オープンから半年足らずの商業施設「かわまちてらす 閑上」。仙台市を中心に、各地から多くの人々が訪れる人気スポットになりつつあります。
「かわまちてらす 閑上」に出店するのは、カフェやレストラン、水産物販売店、青果店など23店舗。将来的には27店舗の出店を目指します。特徴は、震災前から閑上にあった商店以外の店も多いこと。地元商店は6店舗で、17店舗は、仙台市や宮城県南エリア、福島県などに母体を持っている企業。地元資本だけにこだわらず、観光スポットとして魅力ある場所をつくりたいという想いがこもっています。
名取川を眺めながら食事できるカフェやカフェは、若者や家族連れの利用も多数。閑上の水産物を扱う店や蒲鉾店からは、「閑上のおばちゃん」たちの活気ある声が聞こえます。
交流人口を増やし、将来的には移り住んでくれる人が増えたら。閑上を「素晴らしいまち」にするための挑戦が始まっています。

NOW IS. vol. 40

発行：2019年8月11日 宮城県震災復興本部（事務局：震災復興推進課）
〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町三丁目8番1号
Tel: 022-211-2408 Fax: 022-211-2493

「復興情報発信プロジェクト NOW IS.」は、宮城の復興の「いま」を伝えるプロジェクトです。

 宮城県
Miyagi Prefectural Government